令和7年度　浜松市における森林環境譲与税の活用











①森林の整備に関する施策【372,775千円(83.4%)】

【主な事業】
- ○管理されていない森林の所有者への意向調査や現地調査
- ○森林の主伐、再造林、獣害対策等に対する助成
- ○森林作業道の開設、修繕、架線設置等に対する助成　等

②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保【3,953千円(0.9%)】

【主な事業】
- ○天竜林業イノベーションスクールの開催



⑤その他の森林の整備の促進に関する施策【16,087千円(3.6%)】

【主な事業】
- ○林道情報デジタル化
- ○天竜材の生産拡大に向けた取組等に対する助成

③森林の有する公益的機能に関する普及啓発【6,964千円(1.5%)】

【主な事業】
- ○FSC普及啓発のためのノベルティ配布やイベント出展
- ○首都圏の大都市等との連携促進　等





④木材の利用の促進【47,046千円(10.5%)】

【主な事業】
- ○天竜材を使用して住宅を建築した施主に対する助成
- ○天竜材を活用した非住宅の木造・木質化に対する助成
- ○天竜材を使用したあずま屋等の設置

令和7年度　浜松市における森林環境譲与税の活用

（単位：千円）

No.	事業名	主な実施内容	決算額		割合(%)
			決算額	うち充当額	※譲与税
①森林の整備に関する施策			763,963	372,775	83.4
1	防風林等被害対策事業	松くい虫の被害拡大防止のため、伐倒駆除及び薬剤散布、危険木伐採を実施	14,409	12,500	2.8
2	森林経営管理推進事業	適切に管理されていない森林の所有者への意向確認調査や、意向に基づいた市主導の環境伐を実施	27,764	24,088	5.4
3	林道維持補修事業	林道の維持補修及び林道橋の長寿命化のための工事等を実施	510,285	173,458	38.8
4	低コスト林業推進助成事業	木材生産の低コスト化と生産力向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設、索道設置等、林内路網の整備を支援	55,963	48,554	10.9
5	森林整備・林業振興事業	森林整備（間伐・除伐・造林等）を支援	122,417	98,277	22.0
6	市単独治山事業	山地災害防止のための工事の実施と、荒廃状態にある森林の危険木伐採等の整備を支援	33,125	15,898	3.6
②森林の整備を担うべき人材の育成及び確保			4,558	3,953	0.9
1	天竜林業イノベーション推進事業	天竜林業イノベーションスクールの開催	4,558	3,953	0.9
③森林の有する公益的機能に関する普及啓発			8,493	6,964	1.5
1	森林活用等都市間連携事業	大都市主催イベントへの浜松市ブースの出展等	515	446	0.1
2	FSC認証材利用拡大推進事業	木材関連展示会出展やノベルティ製作等による普及啓発の実施	7,066	6,128	1.4
3	森林環境教育推進事業	天竜美林フィールドワーク等の開催	912	390	0.1
④木材の利用の促進			61,269	47,046	10.5
1	天竜材の家百年住居る助成事業	天竜材（FSC認証材）を使用して地域材住宅を建てた建築主を支援	36,318	31,510	7.1
2	天竜材ぬくもり空間創出事業	天竜材（FSC認証材）を使用して非住宅建築物の木造・木質化をした建築主を支援	10,865	9,426	2.1
3	浜松城公園整備事業 （浜松城公園（鹿谷地区）へのあずま屋等の設置）【公園課】	浜松城公園（鹿谷地区）のあずま屋等への天竜材の使用を支援	14,086	6,110	1.4
⑤その他の森林の整備の促進に関する施策			20,991	16,087	3.6
1	天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業	市内森林の二酸化炭素吸収量をクレジット化し、森林に新たな価値を創出	4,906	2,133	0.5
2	スマート林業推進事業	森林モニタリング推進対策事業や林道情報のデジタル化の実施	14,644	12,704	2.8
3	林業成長産業化推進事業	天竜材の生産拡大、新商品開発等の取組を支援	1,441	1,250	0.3
合　計			859,274	446,825	

①-1　防風林等被害対策事業（R7充当額：12,500千円）

○　松くい虫による松枯れ被害拡大の防止を目的に、地上及び空中からの薬剤散布、薬剤の樹幹注入を行うとともに、枯れた松木の伐倒駆除、危険木の伐倒を実施

【 R7年度実績 】
（1）伐倒駆除／舞阪町民の森
（2）薬剤散布／静岡県立森林公園周辺（空中散布及び地上散布）、
舞阪町民の森（地上散布及び樹幹注入）

〔 R7年度防風林等被害対策事業実績 〕

内容	静岡県立森林公園周辺	舞阪町民の森
伐倒駆除	―	172.1㎥
薬剤散布	29.0ha（空中散布）	4.3ha×2回（地上散布）
薬剤樹幹注入	―	240本

〔 事業実施の様子 〕


【 伐倒駆除前 】


【 伐倒駆除後 】


【 薬剤地上散布 】

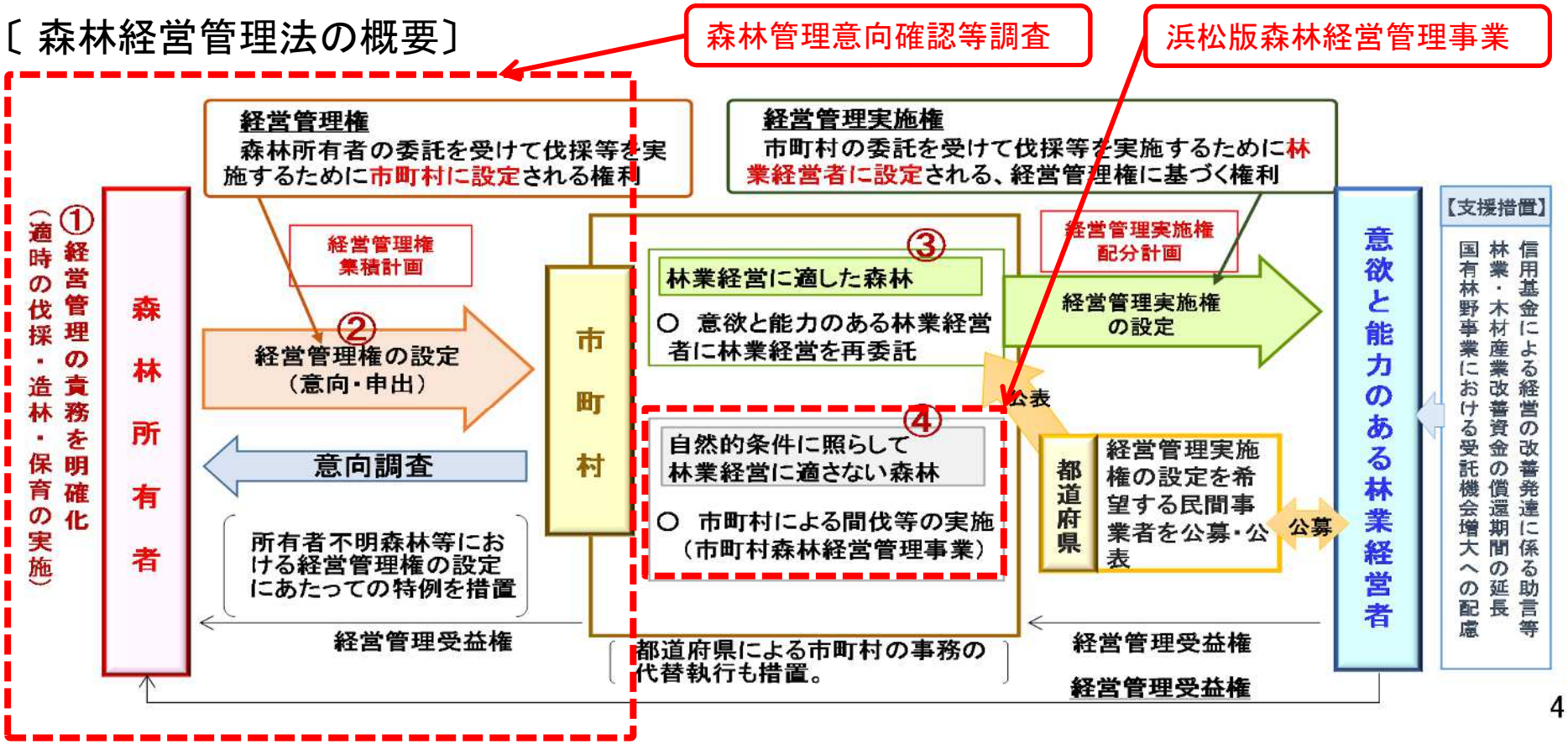

【 薬剤空中散布 】

①-2　森林経営管理推進事業（R7充当額：24,088千円）

○　森林経営管理法に基づき、<u>適切に管理されていない森林について、森林所有者の意向確認、経営管理権集積計画等の作成、同意の取得等を実施</u>するとともに、意向に基づき<u>市主導の環境伐を実施することで針広混交林化を推進</u>

- 森林管理意向確認等調査／森林所有者への意向確認、計画作成、同意取得等を実施
- 浜松版森林経営管理事業／経営管理権集積計画に基づき、混交林化を目指した環境伐を実施

〔 森林経営管理法の概要〕



①-2　森林経営管理推進事業（R7充当額：24,088千円）



○　令和7年度の森林管理意向確認等調査の実績は、森林所有者数：116人、面積：199.72ha（R6／138人、195.25ha ）

○　浜松版森林経営管理事業は、1件（引佐地域）、10.82ha（R6／1件、7.09ha）

○　令和8年度は、約231haの意向調査を予定

〔 これまでの森林管理意向確認等調査の実績 〕

年度	実績														備考
	森林所有者数【人】（意向調査実施者）	調査対象面積【ha】（簡易測量等実施地）	森林整備同意人数【人】	森林整備同意面積【ha】	（うち利用間伐同意人数【人】）	（うち利用間伐同意面積【ha】）	（うち捨切間伐同意人数【人】）	（うち捨切間伐同意面積【ha】）	（うち皆伐同意人数【人】）	（うち皆伐同意面積【ha】）	（うち市町村森林経営管理事業実施人数【人】）	（うち市町村森林経営管理事業実施地【ha】）	森林整備同意回答待ち人数【人】	森林整備同意回答待ち面積【ha】	
R1	96	160.59	63	104.23	26	65.67	41	34.08	0	0.00	1	4.48	17	49.60	その他：7人、6.76ha
R2	160	271.64	142	250.51	120	190.61	27	47.58	0	0.00	2	11.40	10	13.98	
R3	148	293.82	73	168.34	49	107.69	24	60.65	0	0.00	0	0.00	42	76.20	
R4	192	269.85	66	89.99	51	60.27	12	26.87	3	2.85	0	0.00	96	143.43	
R5	163	196.45	72	78.14	52	64.23	18	11.69	2	2.22	0	0.00	89	110.59	
R6	138	195.25	69	108.62	54	79.10	15	29.52	0	0.00	0	0.00	69	86.63	
R7	116	199.72	59	122.89	32	84.37	27	38.52	0	0.00	0	0.00	57	76.83	
合計	1013	1,587.32	544	922.72	384	651.94	164	248.91	5	5.07	3	15.88	380	557.26	

※　利用間伐及び保育間伐の重複者あり

①-3　林道維持補修事業（R7充当額：173,458千円）

○　<u>林道の修繕工事等を実施</u>

・　路肩修繕、舗装修繕、木柵設置など













①-4　低コスト林業推進助成事業（R7充当額：48,554千円）

○　木材生産の低コスト化と生産力の向上を図るため、森林所有者がFSC認証林内で行う作業道開設や修繕、索道の設置等、林内路網の整備を支援

【R7実績】

・作業路開設（幅員:3.0m以下）／3件、691m
・作業道開設（幅員：3.0m）／20件、10,146m
・作業道修繕／47件、25,945m
・索道設置・撤去／30件、5,764m

〔 制度の概要 〕

補助対象／市内の認証森林
補助率／補助対象経費合計の4分の3以内
単価等／
・森林作業道開設：7千円/m
・森林作業路開設：4千円/m
・森林作業道補修：上限1,000千円
・架線設置･撤去：延長100m以上



【 作業道開設 】



【 索道設置 】

①-5 森林整備・林業振興事業（R7充当額：98,277千円）

○森林・林業ビジョンに掲げる持続可能な森林経営の実現と、森林の有する多面的な機能の維持増進を図ることを目的に、造林、保育、間伐、主伐材搬出等の森林整備事業を支援

【森林環境保全直接支援事業】

○ 造林及び間伐等の森林整備を促進するもの

・（R7実績）造林面積：27.57ha、下刈り面積 ：46.14ha、枝打ち面積 ：9.33ha、保育間伐：7.37ha、間伐面積：302.68ha、材積：32,774.295㎥、除伐：2.88ha 、防護柵：9,678m、筒状：17,188本

【合板・製材生産性強化対策事業】

○ 素材生産量の安定供給を確保するもの ・（R7実績）間伐面積：68.51ha、材積：7,225.613㎥

【美しい森林づくり基盤整備事業】

○ 森林の多面的機能の維持増進に資する森林整備 ・（R7実績）間伐面積：23.05ha

【 林業・木材産業成長産業化促進対策事業 】

○ 生産基盤強化区域における間伐 ・（R7実績）実績なし

【 浜松型林齢平準化促進事業 】

○ 主伐された木材の搬出費用を支援（1,000円／㎥） ・（R7実績）皆伐面積：40.68ha、材積：19,482㎥







①-6　市単独治山事業（R7充当額：15,898千円）

○　森林所有者による森林管理が進まず荒廃状態にある森林について山地災害予防等の観点から危険木の伐採や倒木の処理等の整備を支援。

○　森林の有する山地災害の防止等の公益的機能の強化を図る。

【山地災害予防伐採支援事業】

・（R7実績）申請件数：20件、整備面積：0.4ha、伐採本数：66本

○県補助の対象とならない付帯的な工事や治山施設の補修などを行う。

・地頭方向島島沢地区治山施設維持補修工事
・只来地区治山工事
・天竜区横川（大平）地区治山工事
・天竜区横川地区治山工事
・水窪町奥領家（長尾）地区治山工事
・越木平（西谷）地区治山付帯工事
・天竜区横川（大平）地区測量設計
・天竜区大川（相津マリーナ）地区測量設計
・春野町越木平（西谷）地区測量設計

【 実施前 】



【 実施後 】





②-1天竜林業イノベーション推進事業(R7充当額: 3,953千円)

○　低い生産性や高い労働災害率、DX化の遅れといった課題解決に資するスクールを開催。「林業イノベーション」の加速による「儲かる天竜林業」の実現を目指す。

(1)天竜林業イノベーションスクール開催事業
R6調査事業を基に、若手林業事業者向けの講座を計8回開催(R6:2回、R7:6回)

【 イノベーションスクールの様子 】







③−1 森林活用等都市間連携事業（R7充当額：446千円）

○ 森林・林業への理解を深めてもらい、天竜材の販路拡大に繋げることを目的に首都圏の大都市等と連携し、各種イベントでのワークショップ等を実施

・10/3,4　「武蔵小杉駅前優しい木のひろば（川崎市主催）」／ブース来場者：430人、マイ箸づくり体験
・10/11,12 「ちいき百貨店2025（港区主催）」／ブース来場者：260人、マイ箸づくり体験
・11/8　「中野エコフェア（中野区主催）」／ブース来場者：140人、マイ箸づくり体験













【 武蔵小杉駅前優しい木のひろば 】　【ちいき百貨店2025】　【 なかのエコフェア2025 】

③-2 FSC認証材利用拡大推進事業(R7充当額:6,128千円)

○　天竜材(FSC認証材)の地産外商の積極的な推進により、新たな利用価値を創出し、天竜材(FSC認証材)の利用拡大に繋げる

ジャパンホームショー2025

○ 概要／全国への天竜材の販路拡大やFSC認証のPRを目的に浜松市ブースを出展
○ 期間／令和7年11月19日(水)～21日(金)
○ 場所／東京ビッグサイト
○ 展示／天竜材モニュメント・製材品等





③-3 森林環境教育推進対策事業（R7充当額：390千円）

○ 森林環境教育を推進し、天竜美林や天竜材（FSC認証材）の認知度向上を目的に森林・林業・環境に関連したフィールドワークや交流イベントを実施

・天竜美林フィールドワーク／市内高校生等（11名）、伐採現場、天竜材活用施設、製材工場の見学

・ハママツ縁結び「森コン」in天竜／未婚の男女（30名）、きこりによる天竜美林紹介、ジビエBBQ、天竜材ワークショップの開催








【天竜美林フィールドワーク】

【ハママツ縁結び「森コン」in天竜】

④-1 天竜材の家百年住居る事業（R7充当額:31,510千円）

○　天竜材（FSC®認証材）を使用した住宅の建築主を支援し、天竜材の地産地消を推進するとともに、FSC認証材の普及啓発を実施

○　14年間で市内産のFSC認証材が約１万２千㎥使用され、まちなかに第二の森をつくり、脱炭素化及びSDGsの実現を図る取組が推進された

〔 市内住宅着工数と住宅助成事業の推移 〕

（戸）

年度	住宅着工数	うち木造住宅	木造住宅割合	市住宅助成事業実績	うちFSC材使用実績
H24	5,720	3,783	66%	194	73
H25	6,614	4,630	70%	250	100
H26	5,383	3,437	64%	214	94
H27	5,195	3,504	67%	199	94
H28	5,573	3,782	68%	207	110
H29	5,593	3,606	64%	218	149
H30	5,332	3,665	69%	181	115
R1	5,262	3,693	70%	146	94
R2	4,942	3,180	64%	131	79
R3	4,682	3,356	72%	160	160
R4	5,082	3,194	63%	154	154
R5	5,232	2,922	56%	142	142
R6	4,663	2,967	64%	123	123
R7	4,266	2,896	68%	90	90
合計	73,539	48,615	―	2,409	1,577

※「住宅着工数」は「静岡県公式ホームページ」、
「うち木造住宅」は「政府統計の総合窓口」より引用

○14年間でFSC認証材が1,577棟の住宅に使用

○14年間で約１万２千㎥のFSC認証材が使用された（1棟:7.5㎥と仮定）



【 天竜材が使用された木造住宅 】

④-2　天竜材ぬくもり空間創出事業（R7充当額:9,426千円）

○　天竜材（FSC認証材）の利用拡大のため、**非住宅建築物等における木造・木質化等を支援し、天竜材の地産地消を推進**

- 令和7年度実績：11件（新築・増改築・修繕・模様替え・外構工事：4件、木製家具等の導入：4件）
- 令和6年度実績：19件（新築・増改築・修繕・模様替え・外構工事：17件、木製家具等の導入：2件）

〔 制度の概要 〕

FSC認証材を使用する非住宅建築物等の木造・木質化等に対する助成事業

○　補助対象者
　施主

○　補助金額

（1）非住宅建築物等の木造・木質化費用の1/3
　（FSC認証材PRに効果的取組は1/2）
　【上限:5，000千円、200千円/㎥】

（2）特に天竜材の普及効果の高い非住宅建築物の木造・木質化費用の1/3
　【上限:10，000千円】

（3）木製家具・木製品の購入費の1/3
　【上限:2，500千円】





【 本事業活用事例（R7年度） 】

④-3　浜松城公園（鹿谷地区）へのあずま屋等設置（R7充当額：6,110千円）

○　浜松城公園（鹿谷地区）では、令和2年度から整備工事を進めている。
○　令和8年度に供用を開始した北側広場には、天竜材を使用したあずま屋やテーブルベンチ、縁台を整備しており、利用者が木の温もりを感じられる落ち着いた空間の中で、緑に囲まれた天守閣を眺めながら休憩できる場となっている。
【 天竜材使用施設／あずま屋1棟、テーブルベンチ1組、縁台1基】





【 天竜材を使用したあずま屋とテーブルベンチ 】

⑤-1 天竜美林カーボンクレジット創出モデル事業（R7充当額:2,133千円）

○　市内民有林を対象とした二酸化炭素吸収量のクレジット化及び市内企業を中心としたクレジット販売までの一連の取組をモデル的に実施。

○　FSC認証林におけるJ-クレジットの創出を加速させ、市のカーボンニュートラルの目標達成に貢献するとともに、クレジットの創出・販売を通じた森林の価値最大化を目指す。

【 事業内容 】

・天竜美林カーボンクレジット販売モデル事業

クレジットの所有者である協議会を主体とした創出から販売までのスキームの構築に向けて、以下事業をそれぞれ実施。市内林業事業者のクレジットの取組を推進する。

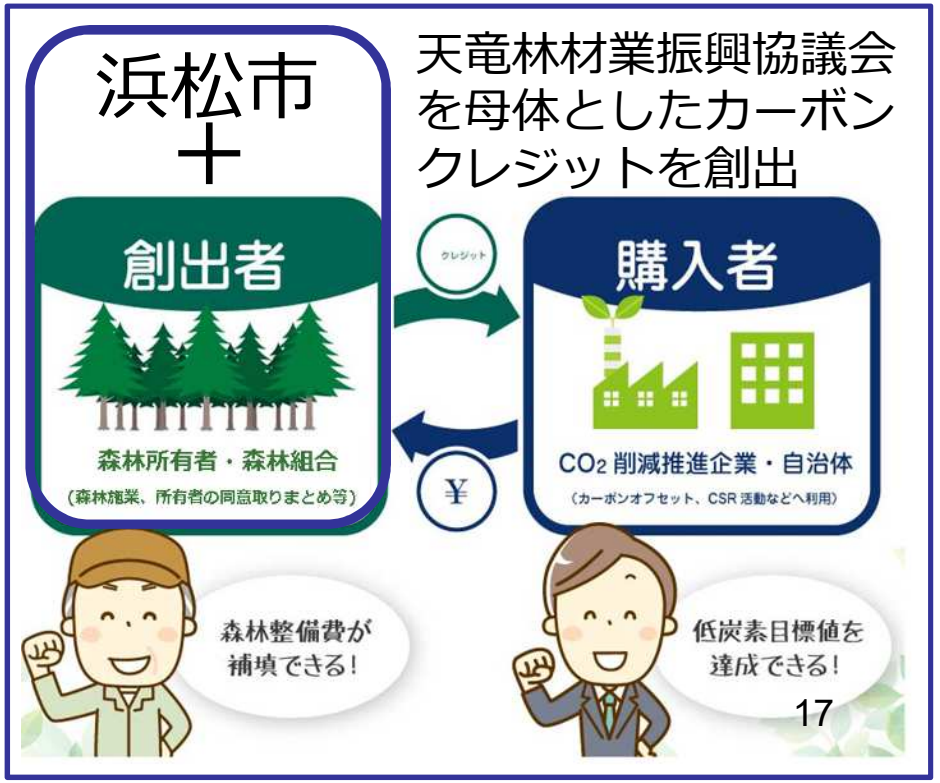
①クレジット販売の適正価格調査

②ブランディング、販売スキームの構築

③事務マニュアルの作成

④マニュアルを基にした勉強会の開催

【 事業イメージ 】



⑤-2　スマート林業推進事業（R7充当額：12,704千円）

＜森林モニタリング推進対策事業＞

災害発生現場や開発行為現場の状況を適時に把握し、行政の迅速かつ適切な対応を可能とする体制を整備

＜浜松市土木情報管理システム（林内路網）情報更新事業＞

林内路網データを地図情報システムに登録することで、路網情報の検索が容易になり、日常のインフラ管理や災害時の庁内の情報共有など業務効率化を図る。

〔森林モニタリング推進対策事業〕



〔浜松市土木情報管理システム（林内路網）情報更新事業〕

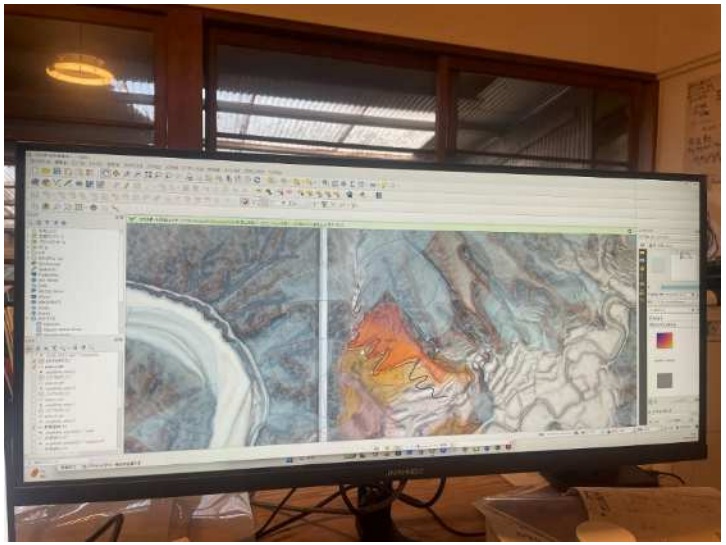


⑤-3 林業成長産業化推進事業(R7充当額:1,250千円)

○　本市の林業・木材産業の成長産業化のため、令和3年度に終了した国の「林業成長産業化地域創出モデル事業」の後継として、天竜材の多様な分野への展開に向けた開発・生産・流通を目的とした事業を支援

○　令和7年度は、森林組合等が実施したデジタルを活用した測量技術の導入等を支援

〔 導入機器〕



〔 GNSS測量システムの導入〕
GIS上で正確な施業管理や計画の立案が可能になった。



〔 電子コンパス等の導入〕
測量業務が効率化し、業務量の拡大が可能になった。